



特定非営利活動法人  
**アジア太平洋地域  
アディクション研究所**

略称 : APARI(アパリ)  
【Asia-Pacific Addiction Research Institute】

### 事業目的

- ・薬物依存など、様々なアディクション【病的依存症】問題に関する調査・研究
- ・薬物依存症者やその家族など社会的弱者に適切な回復プログラムを提供し、再発予防、回復支援、社会復帰をサポート
- ・それらを支える人材育成

### 事業内容

- 1、薬物依存者のリハビリ施設の運営
- 2、保釈中の刑事被告人に対する薬物研修  
受刑中の通信教育、面会、身元引受
- 3、薬物、その他依存症に関する調査・研究
- 4、薬物問題に関する出版物の発行
- 5、学校などへの薬物乱用防止のための活動
- 6、薬物問題を抱える家族のための家族教室  
個別相談
- 7、アジア太平洋地域への国際協力活動
- 8、HIV/AIDS、ハームリダクションに関する  
調査・研究

このプログラムは、再犯率が60%と極めて高い薬物事犯者に対する日本では初めての再犯防止に向けた試みです。  
刑事司法手続のいかなる段階においてもプログラムの受講が可能です。



プログラムはミーティングを中心に行われます

16歳以上の日本人の50人に1人は覚せい剤乱用者  
もし、あなたの家族が薬物犯罪で逮捕されたら……



薬物犯罪あるいは借金などの薬物乱用に関連する問題で  
お困りの方はお気軽にお電話ください

NPO法人アパリ  
〒162-0055  
東京都新宿区余丁町14-4  
電話 03-5925-8848 Fax 03-5925-8984  
<http://www.apari.jp/npo>  
e-mail: [info@apari.jp](mailto:info@apari.jp)

あなたの大切な人が  
薬物事件で  
逮捕されたとき

薬物事犯者に対する  
薬物依存症回復プログラム

刑罰だけでは薬物事犯は  
なくなる

TEL 03-5925-8848



日本ダルク アウェイクニングハウス



# アパリの司法プログラム

一日も早い社会復帰につながる唯一のチャンス！！

このプログラムは、薬物事犯で逮捕・起訴された刑事被告人に、薬物研修を行い、薬物依存者へ自助グループへの参加を通して薬物なしの生活のあり方を取り戻してもらうプログラムです。

薬物犯罪で逮捕されたら刑務所に行くか、再犯防止に向けた取り組みがなにもなされないまま、執行猶予をもらって薬物のある日常に戻るしかなかった日本において、**初めての刑罰以外の再犯防止に向けた取り組み**です。

刑事司法手続中は、年間約1.5万人の薬物事犯の逮捕者に対する再犯防止に向けた薬物研修をする唯一のチャンスなのです。

## 《参加条件》

薬物をやめたいという意志をお持ちの方

## 《プログラム期間》

事案に応じて最適のコーディネートをいたします。

## 《受け入れ施設》

<日本ダルク アウェイクニングハウス>  
〒375-0047 群馬県藤岡市上日野2594

<木津川ダルク>  
〒619-0214 京都府木津川市木津内田山117

※女性は連携している施設を紹介します。

薬物事犯で逮捕

起訴(面会・差入・通信教育)

保釈(身元引受)

薬物依存症回復プログラム

アパリと密接な連携関係のある  
全国各地のダルク、病院等において  
薬物依存症回復のためのプログラム、  
治療を実施

裁判  
情状証人 & 報告書提出

執行猶予

刑務所  
(身元引受・通信教育・面会等)

出所出迎え

薬物依存症回復プログラム  
アパリと密接な連携関係のある  
全国各地のダルク等において、  
薬物依存症回復のためのプログラムを実施

社会復帰

NPO法人だからこそ出来る  
柔軟なプログラム内容です

## 《入寮中のプログラム内容》

### ①グループ・セラピー

「ミーティング」と呼ばれている薬物依存者同士のグループ・セラピー(集団療法)に毎日参加します。薬物依存から回復を目指している依存者の話を聞き、そして自分自身もその体験を皆の前で話すことによって、薬を使っていた時の考え方や行動から、新しい生活のあり方と、新たな価値観を身につけてもらいます。気づきを与えるプログラムです。

### ②その他のプログラム

多くの薬物使用者は、薬物について正しい知識を持っていません。薬物依存は死に至る進行性の病気です。認知行動療法やリカバリー・ダイナミクスプログラムを行い、正しい知識や対処法を習得していきます。

### ③生活習慣の改善

薬物を使いつづけていると、多くの人は食事をとらなかつたり、昼夜逆転、睡眠不足、運動不足を起こしています。プログラムに沿った生活することによって、規則正しい生活リズムを取り戻してもらいます。沖縄のエイサーの練習を毎日行い、体力作りや仲間との関係性を作り一体性・一体感を味わえるようになります。

### ④自立生活訓練

入寮者が自分たちの食事の用意や施設の掃除やメンテナンス等を行う役割が与えられています。ボランティア活動も行い、彼らの自己肯定感を高めることに役立っています。

### ⑤アフターサポート

プログラムを修了し社会復帰後、自助グループや各関連施設の紹介、個別相談や家族相談など、修了後もいつでも相談にのれる体制を整えています。

【費用】 コーディネート料はアパリへ20万円(税別)  
入寮費はダルクへ月額16万円、初月のみ加算あり